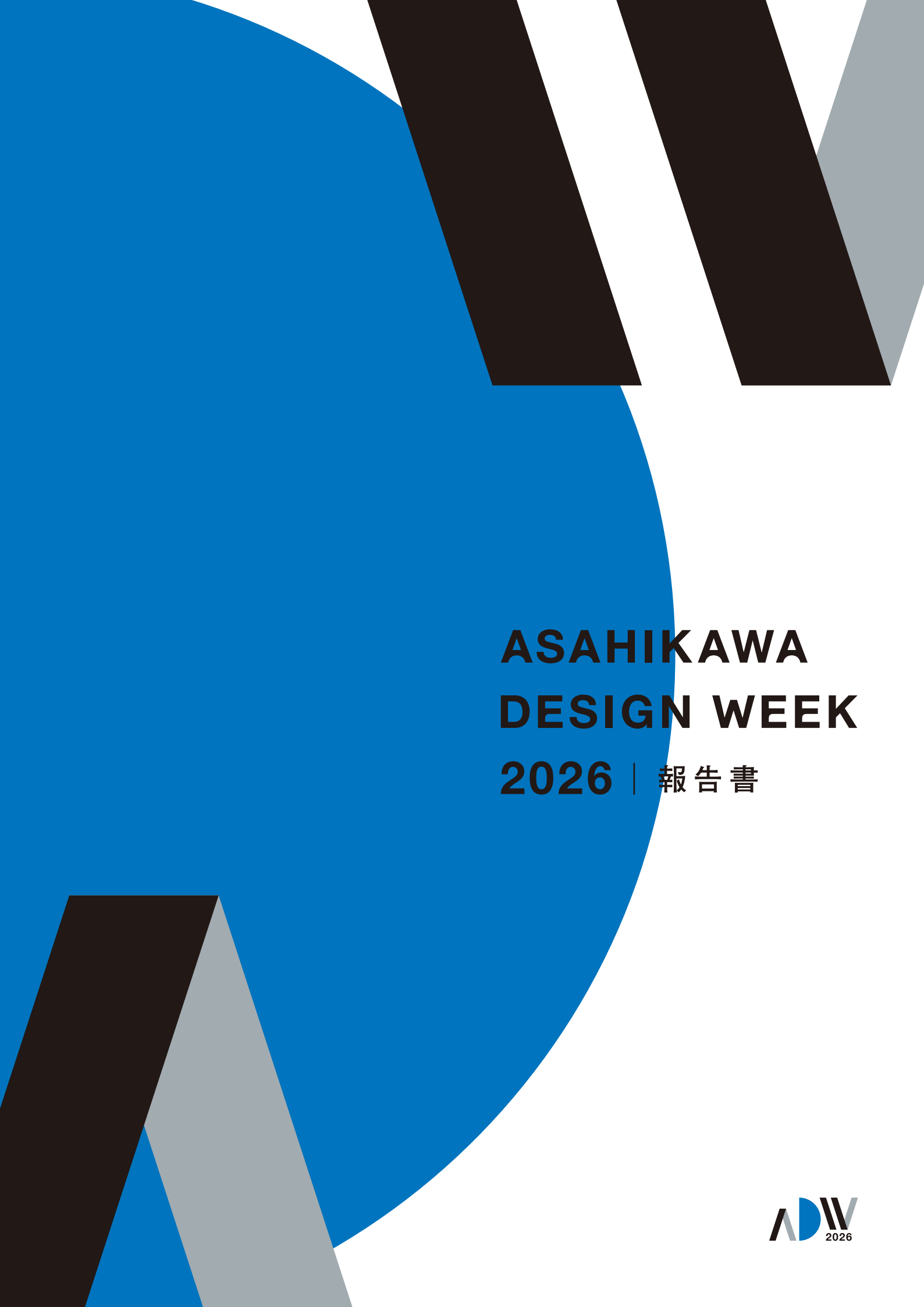




ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2026 | 報告書

ADW2026 REPORT INDEX

ADW2026開催概要 / PMVV / コミュニケーションテーマ	02
PICKUP EVENT ① THE TALK	
開催概要 / 来場者実績	03
体験施策 / THE TALKプログラム	04
PICKUP EVENT ② 旭川家具 with ADW2026	
開催概要 / 来場者実績	08
フォトダイジェスト	09
PICKUP EVENT ③ goen	10
PICKUP EVENT ④ あさいち	
開催概要 / 来場者実績	12
あさいち2026 コンセプト / 会場・コンテンツ内容	13
アンケート施策	14
会場施策	15
PICKUP EVENT ⑤ hiroba	
開催概要 / 3つのイベント	16
えがく、みらい 開催概要 / 来場者実績 / フォトダイジェスト	17
グッジョブ!キャンプ 開催概要 / 来場者実績 / フォトダイジェスト	18
キッズオープンスクール 開催概要 / 来場者実績 / フォトダイジェスト	19
PICKUP EVENT ⑥ まちなかキャンパス	
開催概要 / 来場者実績	20
フォトダイジェスト	21
イベント一覧	22
ビジュアルコミュニケーション	24
SNS & PR Instagram運用	27
ADW SUPPORTER	28
ADW2026を終えて / ADW2026 組織委員会・実行委員会	29

ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2026

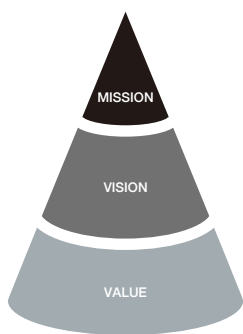
2026.6.18thu – 21sun

旭川のさまざまな分野の人たちが関わり、このまちにある魅力と出会う ASAHIKAWA DESIGN WEEK。2026年は「『なんかいい』を、わたしの暮らしへ。」をテーマに、日常にある素敵な気づきを暮らしに芽吹かせることを目指しました。多彩な企画を通して、一人ひとりが「なんかいいね」を見つけ、それを「だからいいんだ」へと開花させる。その積み重ねが、自分らしい暮らしへとつながるきっかけとなる4日間を展開しました。

会 期 / 2026年6月18日(木)～21日(日)

主 催 / あさひかわデザインウィーク実行委員会

PMVV



OUR PURPOSE

デザインとの共鳴共存による幸せを共創し、世界へ届ける。

OUR MISSION

自然・街・ひとに善い行いを紡ぎ、織り成し、魅力とする。

OUR VISION

日常に、ならではの新鮮さを見つけ、楽しみ、未来へ発信する。
ひとりひとりの中に幸せと喜びの種を生む。

OUR VALUE

「なんかいい」から、「だからいい」へ。
デザインを身近に、毎日の生活に「幸せ」を見つけ、感じ、考え、使い、楽しみ、語り伝える。

コミュニケーションテーマ

Life with. デザインと共鳴する幸せな暮らし

ADW は開催以来、「くらしとデザイン」がどのように呼応するのかを築いてきました。日常生活の中にある“体験”を通じて認識し、理解を深めることで、生活の中で感じる「なんかいい」（潜在化）を「だからいい!!」（顕在化）へと変えていきたい。デザインをより身近なものとして記憶に残してもらいたいと考えています。そして、デザインが生活者同士の幸せをつなぐツールであること、そして身近なものであることをこのイベントを通して伝えていきます。

PICKUP EVENT ①



心に残る言葉と問いに出会う

アッシュアトリウムを舞台に、多様なゲストを迎え、あさひかわの魅力や未来を語り合うトークイベント。全10回の対話を通して、心が動いた言葉や新たな気づきを自分へのメッセージとして持ち帰り、日常の視点や行動へとつながっていく場を目指しました。

「THE TALK」概要

会 期 / 6月18日(木)～21日(日)
 会 場 / アッシュアトリウム(旭川市1条通7丁目 A.s.h. 1F)
 会 費 / 無料
 主 催 / あさひかわデザインウィーク実行委員会、
 あさひかわ創造都市推進協議会 ほか

来場者実績(全トークイベント合計)

580 名

体験施策

余白メモ／未来レター

トークで心に残った言葉や気づきを、少しでも言葉にしてみるための体験施策を実施しました。「余白メモ」には、自分の記憶や感情を書き留めて持ち帰り、「未来レター」には、感じたことや記憶に残った言葉を書いて会場のインスタレーションに掲示。参加者それぞれの気づきを共有し、新たな発見や対話につなげました。

- 余白メモ 440冊配布
- 未来レター 176枚使用



余白メモ



未来レター



THE TALK プログラム

あさひかわデザインウィーク 2026 オープニングトーク

日時 / 6月18日(木) 10:00~11:00

主催 / あさひかわデザインウィーク実行委員会

スピーカー

森 俊一

(あさひかわデザインウィーク 2026 実行委員会実行委員長)

山田 明宏

(あさひかわデザインウィーク 2026 クリエイティブディレクター)

来場者数

58名(定員30名)



THE TALK

一歩踏み出す会社は、何から変え始めるのか — 採用、組織づくり、企業価値を見つめ直す経営者のリアル —

日時 / 6月18日(木) 14:00~15:30

主催 / あさひかわ創造都市推進協議会

スピーカー

荒井 克典

(荒井建設株式会社 取締役社長)

本田 吉孝

(大丸交通グループ 事業推進本部長 専務取締役)

早乙女 愛佳

(経済産業省北海道経済産業局 地域経済産業技術革新課 知的財産室長)

来場者数

58名 (定員 50名)



なぜ人は「その場所」に行きたくなるのか？ — メディアとデザインがつくる“また行きたくなるまち” —

日時 / 6月18日(木) 18:00~20:00

主催 / あさひかわ創造都市推進協議会

スピーカー

山村 高淑

(北海道大学観光学高等研究センター センター長・教授)

来場者数

79名 (定員 100名)



旭川クリエイティブ#トーク＜特別編＞

良い関係は、どう始まり、どう続くのか？ — クリエイターと企業の対話から探る —

日時 / 6月19日(金) 10:00~11:30

主催 / あさひかわ創造都市推進協議会

スピーカー

あべ みちこ

(よつば舎 代表・イラストレーター)

廣野 徹

(高砂酒造株式会社 取締役 企画部 部長)

来場者数

55名 (定員 50名)



てとて、旭川しあわせプロジェクトから考える 未来の関係性のデザイン

日時 / 6月19日(金) 13:00~14:30

主催 / 株式会社グリーンフォレスト(緑の森どうぶつ病院)
NPO 法人手と手の森

スピーカー

木住野 彰悟

(6D 代表 アートディレクター / グラフィックデザイナー)

本田 リエ

(NPO 法人 手と手の森 理事長、(株) グリーンフォレスト 取締役企画室長、
合同会社 Green Shapers 代表社員)

来場者数

26名(定員50名)



旭川デザインシステム

— 都市の共通言語としてのデザイン —

日時 / 6月19日(金) 15:30~16:30

主催 / あさひかわデザインウィーク実行委員会

スピーカー

木住野 彰悟

(6D 代表 アートディレクター / グラフィックデザイナー)

石川 俊祐

(KESIKI Inc. 代表取締役 CDO、旭川市チーフデザインプロデューサー (CDP))

古屋 言子

(D&AD デザインリード APAC)

来場者数

63名(定員50名)



ユネスコデザイン都市旭川 × ドーハ Green Humanitarian Design Competition プレゼン&トーク

— デザインで考える、プラスチックに頼り過ぎない未来 —

日時 / 6月20日(土) 14:00~15:00

主催 / あさひかわ創造都市推進協議会

来場者数

24名(定員20名)



THE TALK

「みんなで一緒に考えた、100の質問」の、つづき。

日時 / 6月20日(土) 18:00~20:00

主催 / あさひかわデザインウィーク実行委員会

スピーカー

今井 浩恵

(株式会社シロ 代表取締役会長兼ファウンダー ブランドプロデューサー)

佐々木 信

(3KG 代表 デザイナー)

プレゼンター

川崎 大誠

旭川工業高等専門学校 専攻科

相木 朱夏

旭川北高等学校卒

畠山 乃愛

旭川工業高等専門学校

来場者数

108名(定員100名)



旧東海大卒業生と語る | まち × 現在、これから

日時 / 6月21日(日) 15:00~16:30

主催 / あさひかわデザインウィーク実行委員会

スピーカー

加藤 雄太

(フォトグラファー、書家、北海道教育大学旭川校非常勤講師、北海道立旭川高等技術専門学院非常勤講師)

田中 貴美恵

(グラフィックデザイナー、アートディレクター)

室岩 成暢

(株式会社クリエイティブファニチャー 商品開発室 営業企画課 室長)

ファシリテーター

山田 明宏

(あさひかわデザインウィーク 2026 クリエイティブディレクター)

来場者数

64名(定員50名)



あさひかわデザインウィーク 2026 クローストーク

日時 / 6月21日(日) 18:00~18:30

主催 / あさひかわデザインウィーク実行委員会

スピーカー

森 俊一

(あさひかわデザインウィーク 2026 実行委員会実行委員長)

山田 明宏

(あさひかわデザインウィーク 2026 クリエイティブディレクター)

来場者数

45名(定員30名)



PICKUP EVENT ②



旭川家具では、ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2026にあわせ、家具づくりの現場を巡る産地ツアーを実施。旭川デザインセンターでは、木の素材に触れる限定ワークショップ「バードコールづくり」や、IFDAから生まれた試作家具を紹介する企画展「IFDA Prototype Stories」を開催しました。また6月21日には、旭川駅前の「グッジョブ！キャンプ」にも出展しました。

「旭川家具 with ADW2026」概要

会 期 / 6月18日(木)～21日(日) 10:00～17:00
 会 場 / 旭川デザインセンター (旭山市永山2条10丁目1-35)
 主 催 / 旭川家具工業協同組合

来場者実績

1,200 名

産地ツアー

日 時 / 6月20日(土) 9:00(集合)～17:00(解散)
 会 場 / 旭川デザインセンター 集合
 主 催 / 旭川家具工業協同組合
 参加費 / 無料(別途昼食代1,500円(税込))
 定 員 / 20名(先着順)

「産地ツアースケジュール」

09:00 旭川デザインセンター 集合(ツアー説明)
 09:50 東神楽町複合施設はなのわ(施設内見学)
 10:55 アルフレックスジャパン(工場見学)
 12:10 昼食(CAFE&FOOD 桜岡)
 13:15 カンディハウス／北海道バレル(工場・ショールーム)
 14:50 旭三商事有限会社(工場見学)
 16:00 旭川デザインセンター(館内見学)
 17:00 解散

旭川家具 with ADW2026
フォトダイジェスト



PICKUP EVENT ③



偶然が、ご縁に変わる時間。

旭川駅裏の初夏の空の下、さまざまな分野・領域で活躍する人たちが集い、世代や業界を超えて語り合う交流イベントとして企画。ここでしか出会えない人との会話から、新たなつながりや明日へ続く“ご縁”が生まれる場を目指しました。

当日は警報の発令を受け、来場者の安全を最優先に中止としました。

「goen」概要

会 期 / 6月19日(金) 17:00~19:00

(開場・受付 16:40~)

会 場 / あさひかわ北彩都ガーデン(旭川市宮下通8丁目3)

※旭川駅南口方面・通称「駅裏」

会 費 / ●事前チケットA / 5,000円(税込)

ドリンク飲み放題+ウェルカムフードボックス

+KEG DRAFT SAKE(樽生の味わいの日本酒)

●事前チケットB / 3,000円(税込)

ドリンク飲み放題

●当日チケット / 3,500円(税込・当日会場受付)

ドリンク飲み放題

主 催 / あさひかわデザインウィーク実行委員会

事前申込

144名

(プランA / 70名、プランB / 74名)

当日
気象警報
により
開催中止

PICKUP EVENT ④



ゆっくりと朝をはじめる、ちょっと特別な時間をテーマに、地元のつくり手たちとともに、朝ごはんやコーヒー、心と体をととのえるひとときなど、さまざまな“朝の楽しみ”を提供しました。澄んだ空気の中、心地よくしつらえた空間で、味わい、香り、語らいを通して旭川の朝にふれ、いつもの朝が少しうれしくなるような時間を届けました。

「あさいち」概要

会 期 / 6月20日(土)・21日(日) 7:00 ~ 12:00

主 催 / あさひかわデザインウィーク実行委員会

会 場 / あさひかわ北彩都ガーデン

協 力 / 美食&情報マガジン kutta(くった)

(旭川市宮前2条1丁目1)

来場者実績

DAY 1

4,452 名

+

DAY 2

5,797 名

→

10,249 名

天 気 / 曇り
最低気温 / 17.0℃
最高気温 / 26.0℃

天 気 / 曇り時々晴れ
最低気温 / 13.6℃
最高気温 / 23.5℃

※計測方法 / 日本観光協会方式(ガイドライン方式)

あさいち 2026 コンセプト

選びたくなる理由に、 出会える朝。

その一口は、ただ「おいしい」だけじゃない。

毎朝早くに火を入れる人の時間や、このまちの水の味、

30年続けてきた誰かの手の跡が、すこしだけ重なっている。

あさいちは、そんな「一口の向こう側」にいる人たちと出会う朝。

まだ知らなかったこのまちの食や人との関係性が、ふっと立ち上がる。

そんな、あさひかわとあなたの新たな風景がまたひとつ増える朝。

数日後、スーパーの棚の前や、街並みで見かける風景でふと思い出す。

「あ、あさいちで見たあれだ。」

そのとき、あなたは少しだけ誇らしくなる。

「わたしはこれを選ぼう」と言える自分に、気づくから。

会場・コンテンツ内容

出店者一覧

[kutta エリア]

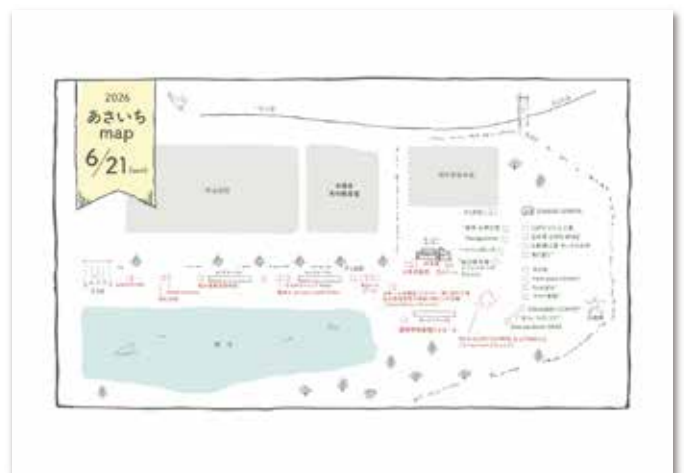
Acts Cafe / 旭川産米粉シフォンケーキ Foruno / ONIGIRI GONTA / おむすびとお惣菜 春結
お料理工房 チッチの台所 / CAFE シビエ工業 / カフェ マグノリア / キッチンブラウン
KINUBARI COFFEE / 珈琲 古伊万里 / コマド食堂 / 米と麦と / thee sandwich SASA
サンアース大雪 / 日本茶 CAFE WHIZ / hanaguruma / hara peco kitchen
ハルニレばっば / 東川ベリカン / fumi ぱん / Benchtime/ 喫茶室 叢 / MOONLOID CAFE
めがね / らあめん吉法師 / RAWLAW BY VOREAS

[あさいち企画エリア]

旭川農業高等学校農業科学科地域資源活用班
ayamobooks / 上森米穀店 × 旭川商業高等学校
かみかわ直売ネットワーク / 鷹栖町物産館 たかまへる / Niko508
日本ハム北海道ファクトリー (株) 旭川工場&北海道教育大学旭川校コラボ企画
(Supported by cafe sunao)
はみがきショップ halsa / 離れ火 pottery studio Riika
lettre d'amour / YOU LOVE COFFEE & UTENSILS

体験(ワークショップ)一覧

あさいち太極拳 (講師/楊名時八段錦太極拳師範 朱(あかね))
コーヒーワークショップ (講師/ YOU LOVE COFFEE & UTENSILS)
朝の読書じかん (講師/ ayamobooks)
コーヒーテイストリング (講師/ スターバックスコーヒー旭川北彩都店)
健康と食生活 (講師/ 旭川市健康推進課)
搾りたて醤油で食べる究極の朝ごはん (講師/ お料理工房チッチの台所)
自分だけのブレンド米をつくるワークショップ (講師/ 上森米穀店 鳥越弘嗣)



コンテンツ

【えらんでつくるあさごはん。】

昨年のアンケートで寄せられた「色々なお店のものをちょっとずつ楽しみたい」という声をもとに、新たに「あさのひとくち」を実施しました。

受付でトレイを受け取り、会場のお店をめぐりながら、スープやごはん、パン、おかずなどから好きなものを少しずつ選ぶスタイルで、自分だけの朝ごはんをつくる楽しさを提供しました。



コンテンツ

【お米が食卓に並ぶまで展 2026】

旭川のお米が食卓に並ぶまでの背景を「知る・つくる・語る」の3つの体験でつなぐ企画。展示を通して、お米に関わる仕事や工夫、旭川の風土との関係を知り、ワークショップでは品種ごとの特徴を感じながら、自分だけのブレンド米をつくりました。

完成したお米は持ち帰り、自宅の食卓で味わい、語ってもらうことで、会場での体験が日常へと続いていくことを目指しました。



コンテンツ

【産学連携】

地域の企業と学生・高校生が連携し、旭川の食をテーマにした取り組みを実施しました。企業の仕事やものづくりに触れながら、それぞれの視点やアイデアを生かして商品やレシピを考案・開発。「あさいち」での販売や提供を通して、学びやアイデアを実践につなげました。

- 日本ハム北海道ファクトリー(株) 旭川工場
× 北海道教育大学旭川校
(工場見学をもとに朝ごはんレシピを考案・提供)
- 上森米穀店 × 旭川商業高等学校
(焼きおにぎり用ブレンド米の考案・試食・販売)
- 日本醤油工業株式会社 × 旭川農業高等学校
(旭川産トマト・キュウリを使った三升漬の販売)



アンケート施策

昨年好評だったお花のプレゼントを今年も。今年はLINEの登録&アンケートの回答で、ひまわりを一輪、または箸置きをひとつプレゼント。また、ロングテーブルに「あさいち自由帳」を設置し、来場者の声を集めました。

回答者数 / 515 名

- ひまわり…400 本 (各日 200 本)
 - はしおき…100 個 (各日 50 個)
- あさひかわ春光会協賛



あさいち自由帳

アンケート回答用NFCカード



はしおき(あさひかわ春光会協賛)



プレゼントのひまわり用のフラワラッピング

会場演出 [エントランスゲート]



会場演出 [ロングテーブル]



会場演出 [タープテント]

商品の背景にある作り手の思いや仕事を伝える「つながりパネル」を設置。あわせて店舗サインを縦型に変更し、会場全体で統一感のある展開としました。



PICKUP EVENT ⑤



「もっと知りたい」を、見つけよう。体験しよう。

さまざまなヒト・モノ・コトが交差する「hiroba」は、新たなアイデアやアクションが生まれる創造と体験の広場です。見て、触れて、話す——。そんな一歩踏み込む体験を通して、参加者の「もっと知りたい」という好奇心や、新たな気づきが生まれる場をつくりました。そこで生まれた好奇心や気づきが日常に小さな種をまき、明日をちょっと変えるきっかけとなることを目指しました。

〈hiroba〉で出会う、こどもたちの「もっと知りたい」を刺激する3つのイベント



〔アートとつながる〕
えがく、みらい



〔産業とつながる〕
グッジョブ! キャンプ



〔学生とつながる〕
キッズオープンスクール



「えがく、みらい」概要

日 時 / 6月20日(土) 11:00~16:00

会 場 / 旭川市総合庁舎 正面玄関前
(旭川市7条通9丁目)

参加費 / 無料

対 象 / 0歳~大人

主 催 / あさひかわ創造都市推進協議会

後 援 / 旭川市、旭川市教育委員会、
あさひかわデザインウィーク実行委員会

協 力 / アトリエクオーレ、BBMedia

来場者実績

224 名

(生成AI体験 / 95件)

※計測方法: 受付方式(受付カウント)による来場者数集計

えがく、みらい

子どもたちの自由な表現から生まれる、まだ見ぬ未来のかたち。
「えがく、みらい」は、
“生まれる・広がる・変化する”という創造のプロセスを通して、
手から生まれた小さな表現が、
空間やテクノロジーと重なりながら、
新しい可能性へとひらいていくイベントです。

実施内容



素材と向き合い、自由に、
そしてダイナミックに表現
する体験。



窓をキャンバスに、みんな
で描き、まちの景色をつく
る体験。



思い思いに色つけた木
端が生成AIによって新た
なアートに変化する体験。





GOOD JOB!
CAMP

「グッジョブ! キャンプ」概要

日 時 / 6月21日(日) 11:00~17:00

会 場 / 旭川駅前 北広場

(旭川市宮下通8丁目)

参加費 / 無料

対 象 / 小学生、中学生、高校生、専門学生、
大学生(保護者・教員・一般の方も参加可)

主 催 / あさひかわ創造都市推進協議会、
旭川市、旭川商工会議所

後 援 / 北海道上川総合振興局、
旭川市教育委員会、旭川信用金庫、
旭川市立大学、旭川工業高等専門学校、
北海道旭川地方技能士会、
上川地方技能訓練協会、
上川地方技能推進協議会、
まちなかキャンパス実行委員会、
あさひかわデザインウィーク実行委員会

参加団体

旭川建設業協会、上川調査設計協会、
旭川家具工業協同組合、
旭川機械金属工業振興会 with
旭川市工業技術センター・旭川市工芸センター、
旭川ハイヤー協会
(旭川合同自動車株式会社・大丸交通株式会社)、
旭川地区トラック協会

来場者実績

2,172名

※計測方法：時間サンプリングによる来場者数推計
(30分観測・30分非観測、拡大係数2.0)

グッジョブ! キャンプ

まちの日常は、たくさんの仕事の重なりでできています。

そこには、誰かの工夫や技術、想いがあります。

グッジョブ! キャンプは、そんなさまざまな「はたらく」と
出会える体験イベントです。

仕事を体験したり、つくる人の話を聞いたりしながら、
普段は気づかない仕事の面白さや魅力に触れることができます。
いろんな仕事が集まるように集まる場所で、
自分だけの“グッジョブ!”を探してみませんか。

グッジョブ! キャンプ 回遊型施策



6団体のブースを巡り、体験や展示の見学で
「グッジョブ! 認定」スタンプを集める回遊型施策
を実施。スタンプを集める楽しさと達成感を通し
て、各ブースへの回遊を促しました。また、旭川商
工会議所による「旭川バーベキュー」の食事引
換券を先着100名※に配布し、隣接する会場間
の回遊にもつなげました。

※大学生・専門学生以下のお子様(22歳以下)限定





キッズオープンスクール

普段は触れることがないプロが実際に使う道具を使って、カットやヘアアレンジ、ネイル、メイクなど本格的な体験できる「キッズオープンスクール」を開催。今回の ADW では、自分自身を変えてもらえる理美容生によるヘアアレンジやメイク体験ブースもあり、お兄さん・お姉さんと交流しながら楽しく学んだり、興味を深めることができます。

「キッズオープンスクール」概要

日 時 / 6月21日(日) 10:30~12:00

(受付 10:00-10:30)

会 場 / 旭川理容美容専門学校

(旭川市4条通12丁目)

参加費 / 無料

定 員 / 50名

対 象 / 小学5・6年生

主 催 / 旭川理容美容専門学校

後 援 / 旭川市、旭川市教育委員会

協 力 / あさひかわ創造都市推進協議会、
あさひかわデザインウィーク実行委員会

実施内容

やってみる

カット | パーマ | ヘアアレンジ | ネイル | メイクアップ | バリカンアート | シェービング

やってもらう

ヘアアレンジ | メイクアップ

参加者実績

30名

(申込数33名で当日3名欠席)

※計測方法：受付方式(受付カウント)による来場者数集計



PICKUP EVENT ⑥



「ユネスコデザイン創造都市」への理解を世代を超えて継承するには、若い人がまちづくりやSDGs、デザインに触れる機会が欠かせません。幸い、多くの高校生が「総合的な探究の時間」で地域を学んでいます。この学び合いを教室からストリートへ、学生から学生へ、現代から未来へ。そんな願いから街頭で5年目を迎えた「まちなかキャンパス」は、展示参加者数推定900名、来場者数推定73,000名、37団体による79展示の出展となりました。

「まちなかキャンパス2026」概要

会 期 / 6月20日(土) 10:00~16:00
 6月21日(日) 9:00~16:00
 会 場 / 旭川平和通買物公園(旭川市宮下通~7条通)
 主 催 / まちなかキャンパス実行委員会
 運 営 / まちなかキャンパス学生委員会
 共 催 / 旭川市、旭川ユネスコ協会

来場者実績

73,000 名

まちなかキャンパス 2026
フォトダイジェスト



イベント一覧



HOKKAIDO WOOD展 in ASAHIKAWA DESIGN WEEK2026

会 期 / 6月18日(木)～21日(日) 10:00～15:00
 会 場 / 旭川市民ギャラリー
 (旭川市宮下通 11 丁目 上川倉庫蔵田夢内)
 主 催 / 上川総合振興局産業振興部林務課
 [トークセッション]
 6月21日(日) 13:30～15:00
 テーマ / 「共創～Life with HOKKAIDO WOOD～」
 モデレーター / kochia 荒木 孝文 氏



京都伝統工芸大学校×昭和木材 産学連携プロジェクト 成果発表展示会 「素材とデザイン

～京都の学生が考える樺材の魅力～

会 期 / 5月20日(水)～6月21日(日) 9:00～16:00
 ※5/20-6/18は平日のみ
 会 場 / 昭和木材(株)ショールーム内展示場
 (北海道東川町西町 10 丁目 1-3)
 主 催 / 昭和木材株式会社



CondeHouse Factory Tour & Workshop — 旭川家具 with ADW2026 —

会 期 / 6月18日(木)～20日(土)
 各日①10:00～、②14:00～(各回 90 分程度)
 会 場 / カンディハウス旭川ショップ
 (旭川市永山北 2 条 6 丁目)
 参 加 / 無料 定 員 / 各回 15 名
 主 催 / 株式会社カンディハウス



まちなかアクティビティ

会 期 / 6月20日(土)・21日(日) 10:00～17:00
 会 場 / あさひかわ北彩都ガーデン
 (旭川市宮前 2 条 1 丁目 1)
 主 催 / 一般社団法人 大雪カムイミントラ DMO



旭川をめぐるデザインミニツアー イオンモール旭川駅前×cosme910

日 時 / 6月18日(木) 16:00～16:40
 会 場 / イオンモール旭川駅前 1 階フードコート前集合
 (旭川市宮下通 7 丁目 2 番 5 号)
 主 催 / あさひかわ創造都市推進協議会
 後 援 / あさひかわデザインウィーク実行委員会



匠工芸 ファクトリーツアー&ワークショップ

会 期 / ●ファクトリーツアー 6月18日(木)・19日(金)
 各日①11:00～、②14:00～
 ●家具の端材を使ったコースターづくりワークショップ
 6月20日(土)・21日(日) 各日 10:00～17:00
 会 場 / 匠工芸 本社 SHOP & FACTORY
 (上川郡東神楽町南 1 番通 24 番地)
 主 催 / 株式会社 匠工芸



デザイン創造都市あさひかわ 活動パネル展 — 自然・人・文化で育む 「デザインの森」—

会 期 / 6月18日(木)～22日(月)
 会 場 / JR 旭川駅南口中央
 (旭川市宮下通 8 丁目)
 主 催 / あさひかわ創造都市推進協議会



Green Humanitarian Design Competition 表彰式 — プラスチックに頼らない未来の 暮らしを創造する —

日 時 / 6月19日(金) 17:00より
 会 場 / JR 旭川駅
 (旭川市宮下通 8 丁目)
 主 催 / あさひかわ創造都市推進協議会、
 旭川市、カタールミュージアム



ユネスコデザイン都市旭川 × ドーハ Green Humanitarian Design Competition 展 — プラスチックに頼り過ぎない未来 —

会 期 / 6月18日(木)～6月21日(月)
 会 場 / JR 旭川駅南口中央
 (旭川市宮下通 8 丁目)
 主 催 / あさひかわ創造都市推進協議会



木の SPOON ～手で作るデザイン展～

会 期 / 6月18日(木)～6月21日(日)
 ※ワークショップは
 6月20日(土)・21日(日) 開催予定
 会 場 / 旭川デザインギャラリー(蔵田夢)
 (旭川市宮下通 11 丁目 蔵田夢内)
 主 催 / あさひかわ創造都市推進協議会
 協 力 / 手で作るデザイン展実行委員会



コド木工 展示・ワークショップ・販売

会 期 / 6月20日(土)～21日(日)
 会 場 / 7 条平和通貿物公園
 (旭川市 7 条通 7、8 丁目)
 主 催 / あさひかわ創造都市推進協議会、コド木工



デザイン絵日記 作品展 — まちで見つけた「いいね」のデザイン —

会 期 / 6月18日(木)～21日(日) 9:00～21:00
 会 場 / イオンモール旭川駅前 4 階フロアー
 (旭川市宮下通 7 丁目 2-5)
 主 催 / あさひかわ創造都市推進協議会
 旭川デザイン協議会



旭川空港ラウンジ大雪 ご利用のお客さまへお菓子のプレゼント

会 期 / 6月18日(木)～21日(日) 8:00～20:00
会 場 / 旭川空港 国内線旅客ターミナルビル3階
カードラウンジ「LOUNGE 大雪」
(上川郡東神楽町東2線16号98番地)
主 催 / 北海道エアポート(株)旭川空港事業所



伝統の技にふれる ― 染め物体験&工場見学

会 期 / 6月18日(木)・19日(金)
各日①10:00～②14:00～
会 場 / 株式会社近藤染工場
(旭川市1条通3丁目右1号)
参加費 / 4,000円(税込)
定 員 / 各回定員5名
主 催 / 株式会社近藤染工場



HIGASHIKAWA LIFE&DESIGN 2026

会 期 / 6月18日(木)～20日(土) 10:00～17:00
会 場 / キトウシの森及び東川町内
(東川町西5号北44番地及び東川町内)
主 催 / 東川町



ASAHIKAWA まち歩きツアー 2026

日 時 / 6月20日(土) 受付開始9:30～
会 場 / JR旭川駅コンコース天秘周辺 集合
(旭川市宮下通8丁目3-1)
主 催 / (一社)北海道建築士会旭川支部
(一社)北海道建築士事務所協会旭川支部

ビジュアルコミュニケーション



A2ポスター展示イメージ

ロゴマークの整理と ビジュアルコミュニケーション

旭川市デザインシステムとのつながりを保ちながら、ADW としての識別性をより明確にするため、ロゴマークを整理。ブルーの半円でデザインの「D」を表現し、単独でも機能するシンボルとしてアップデートしました。新たなロゴを起点に、各種ツールへ一貫したビジュアル展開を行いました。



ステッカー（両面、ダイカット、70mm×37.3mm）



ADWスタッフTシャツ



公式WEBサイト



フリーペーパー連載記事
デザイン・編集／ライナーネットワーク



フリーペーパー広告
ライナー 6月16日付、フロント全14段カラー



歓迎看板(市役所広告塔 870×5600mm)



平和通貿物公園フラッグ
(700×300mm / 広告面150×300mm)



ガイドブック
(A2、420×594mm両面、マップ折)



旭川信金ウィンドウディスプレイ（ウィンドウ4面使用）

アンバサダーを中心とした 広報・PR 施策

ADW でイベントを運営する実行委員をはじめ、さまざまなかたちで活動に関わる人々を「アンバサダー」として紹介。一人ひとりの“顔”とともに、ADW でどのようなことに関わり、どんな体験や出来事を届けたいのかを、それぞれの言葉で伝えました。

まちなかのウィンドウに掲出し、ADW に関わる“ひと”自身が語り手となることで、さまざまな活動や体験を身近に伝えるコミュニケーションを展開しました。



アンバサダーポスター

SNS & PR Instagram 運用

2つのInstagramアカウントを 活用した情報発信

「ADW」公式アカウントと「あさいち」公式アカウントを運用し、それぞれの役割に合わせた情報発信を行いました。ADW公式では、各イベントの情報発信や広告展開、協賛企業とのタイアップPRなどを実施。「あさいち」公式では、出店者や商品、コンテンツなど、来場につながる具体的な情報を中心に発信しました。

ADW公式 Instagram

- イベント情報・ADWの取り組み
- 広告・インフルエンサー施策
- 協賛企業とのタイアップPR

@asahikawa_design_week



あさいち公式 Instagram

- 出店者・商品情報
- コンテンツ紹介
- 開催に向けた継続的な情報発信

@asaichi_asahikawa



RESULT

62.3%

来場者の約3人に2人が
InstagramをきっかけにADWを認知

前年比 **+21.7pt**

4,957人

2アカウント
累計フォロワー

前年比 **+57.9%**

5.5人

投稿あたり
獲得フォロワー

前年比 **+49%**

**67.6万
imp**

広告インプレッション

前年比 **+19.6%**

運用のポイント

より早く、具体的な情報を発信

出店者情報など、来場につながる具体的な情報を前年より早い時期から発信しました。

広告・インフルエンサーとの連携

通常投稿に加え、Meta広告やインフルエンサーとのコラボレーションを活用し、幅広い層への認知拡大を図りました。

協賛企業とのタイアップPR

ADW公式アカウントを活用し、協賛企業の取り組みや魅力を紹介するPRコンテンツも展開しました。

Instagramを通じた情報発信が、イベントを知るきっかけとして大きく伸長。

来場者アンケートでは、Instagram経由の認知が62.3%となり、来場につながる主要な情報接点となりました。

ADW2026を終えて

去る6月18日(木)から21日(日)までの4日間で開催いたしました、あさひかわデザインウィーク2026(以下ADW)に、各自治体や団体、企業や個人の皆様方に、多くのご協賛、ご協力、そしてご参加を賜りましたことに、会を代表いたしまして、改めて心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。また、この事業の準備、運営を担っていただきました組織委員会、実行委員会の皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

今回のADWは、「あさいち」「TALK」「hiroba」「goen」をメインコンテンツに、旭川家具 withADW2026や、まちなかキャンパス2026との協力の中、そして20もの関連イベントで開催をさせていただき、それぞれにデザインの持つ可能性を、参加された皆様の笑顔に接し、少しでもお伝えできたのではないかと、我々は感じております。

運営面におきましては、メインコンテンツであった交流イベントのgoenが、多少の雨では決行することを考えていたため、まさかの雷雨で警報が出る中では、中止せざるを得なく、各方面におきまして、その場での対応やお知らせ方法などで、ご迷惑をお掛けする結果となってしまいました。大変申し訳ございませんでした。

ADWでは、デザインを身近な存在に、テーマは「Life with」とし、日常の暮らしの中で「なんかいいね」から「だからいいんだ」という気付きを見つけ、豊かな自分らしい暮らしに繋げて行くことをコンセプトとし、イベントごとにそのエッセンスを散りばめ、開催をさせていただきました。

今回で私は2年目のADW実行委員長を務め、デザインという、ある意味分かりにくいものを、分かりやすく伝えたいと思う、なんとも矛盾しているようなこの難しいイベントに関わらせていただき、私自身といたしましても大変勉強になりました。デザインとは、計画した内容に基づいた色・物・形にした視覚的要素のことから、計画や考え方、体験など、目標達成のためのプロセスという、目に見えないこともデザインになり、誰でも何かしら関わっていることだと、私は理解しています。

これからも、そんなデザインのチカラで、より多くの人へ豊かさや幸せを感じていただけるために、ADWを通じてこのあさひかわの地域へ届けて行きたい。そんな願いを皆様と共に叶えて行けます様、今後も変わらぬご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

あさひかわデザインウィーク実行委員会 会長

森 俊一

あさひかわデザインウィーク 2026

組織委員会

あさひかわ商工会、あさひかわ創造都市推進協議会、一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム、旭川家具工業協同組合、旭川菓子商工業組合、一般社団法人 旭川観光コンベンション協会、旭川機械金属工業振興会、旭川クリエイターズクラブ、一般社団法人 旭川建設業協会、一般社団法人 旭川建築協会、旭川工業高等専門学校、旭川工業団地協同組合、旭川小売酒販組合、一般財団法人 旭川産業創造プラザ、旭川シティホテル懇話会、旭川商工会議所、旭川商工会議所女性会、旭川食品加工協議会、旭川市立大学、旭川信用金庫、一般社団法人 旭川青年会議所、旭川デザイン協議会、旭川発明協会、一般社団法人 旭川物産協会、旭川ユネスコ協会、学校法人旭星学園 旭川理容美容専門学校、一般社団法人 大雪カムイミントラDMO、北海道イノベティブデザイン経営研究協議会、一般社団法人 北海道建築士事務所協会 旭川支部、一般社団法人 北海道中小企業家同友会 道北あさひかわ支部、北海道中小企業家同友会 道北あさひかわ支部 女性経営者部 野花の会、一般社団法人 北海道デザイン協議会、一般社団法人 北海道デザインラボ 旭川市、愛別町、上川町、鷹栖町、当麻町、美瑛町、東神楽町、東川町、比布町

実行委員会

森 俊一、佐々木 雄二郎、大谷 薫、石川 俊祐、山田 明宏、細谷 壘、森 美弥子、早苗 智佳、谷越 亜紀、上田 カオル、小山 れいこ、宮本 真季、角谷 亜里沙、林 広尚、工藤 信正、高澤 善美

Special Thanks / CUNERI DESIGN、美食&情報マガジン kutta

後援

文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、公益財団法人 日本デザイン振興会、公益社団法人 日本インテリアデザイナー協会、公益社団法人 日本建築家協会 北海道支部 旭川地区会、一般社団法人 北海道デザイン協議会、北海道旅客鉄道株式会社旭川支社

協力

経済産業省 北海道経済産業局

